

2020-21 年度

名古屋名駅ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 R.I. 会長
ホルガー・クナーRotary
Club of Nagoya Meieki

クラブ会長方針「美しく行動しよう」

スローガン「他人の意見を尊重しよう！」

名古屋名駅ロータリークラブ
承認：1991年4月17日
例会日：水曜日 12:30～
例会場：名鉄ニューグランドホテル会 長：山本裕三
副 会 長：寛 正紀
幹 事：加藤友康
クラブ会報：田中敏晶

●名古屋名駅ロータリークラブ 事務局：TEL.052-453-0808 FAX.052-453-0800 E-mail: meiekirc@f5.dion.ne.jp http://www.nagoya-meiekirc.com

第1353回例会
(和 食)

ガバナー補佐訪問例会

照井ガバナー補佐、貴重なアドバイスをありがとうございました。

2020年9月30日(水)
(令和2年)晴 No.8

□ 司会 飯田容子 会場運営委員

□ ゲスト紹介

西名古屋分区ガバナー補佐 照井 栞さん(名古屋大須)

地区副幹事 坂 英臣さん(名古屋北)

分区幹事 林 順治さん(名古屋大須)

□ 出席報告

会員総数86名(免除者15名)

義務者出席59名 免除者出席10名 総数69名

出席率85.19%



会長あいさつ

山本裕三会長

ようやく今日から通常例会に戻りました。今期の残りはあと実質9ヶ月となりますが、内容の濃いロータリー活動ができる

ように頑張っていきます。

先日の日曜日にはゴルフ部会のコンペが開かれて、大橋誠之さんが見事に優勝されました。おめでとうございます。

本日は色々卓話を考えていたのですが、事前の打合せで照井さんの話が非常に面白かったので、今日は私の卓話はやめて、照井さんの卓話をたっぷり聞いて頂ければと思います。

□ 幹事報告

加藤友康幹事

- (1) 10月以降の例会予定/10月以降は60分間の通常例会方式にて実施します。ただし当面は座席配置は教室形式とし、食事中以外はマスク着用。また、その他の事項については、会場運営委員会の指示に従って下さい。
- (2) 例会欠席の取り扱いを理事会にて検討した結果、年内12月までの欠席は、引き続きメイクアップ不要とすることにしました。
- (3) 9月末会員数は期首83名から2名増の85名です。
- (4) 本日例会終了後の13時40分からクラブアセンブリーを開催します。関係各位はご参集下さい。

□ R財団マルチプル・ポール・ハリス・フェロー表彰

マルチプル・ポール・ハリス・フェローを受賞された西川達郎さんに、本日ゲストの照井 栞ガバナー補佐より認証バッジが贈呈されました。



ガバナー補佐講話

◇ 紹介

寛 正紀副会長

照井ガバナー補佐は、神野ガバナー時代、地区大会の司会をして頂いたのご存じの方も多いと思います。では、ガバナー補佐、宜しくお願いします。



西名古屋分区

照井 栞ガバナー補佐

8月24日からスタートしたガバナー補佐訪問ですが、コロナ禍の中で皆さんが工夫しながら例会を開こうとしている姿を色々見てきました。名古屋名駅RCも久しぶりの通常例会ということで、今日は宜しくお願いします。

さて、今年度のRI会長はホルガー・クナーさんで、ドイツ人です。ずっと青少年奉仕に力を注いでいらした方で、これからはローターアクトの力を充分に発揮できる下地を作っていくべきという気持ちが大変強いようです。ですからテーマの「ロー

10月は経済と地域社会の発展月間/米山月間です

< 例会開催予定 >

◇第1354回10月7日(水) 通常例会(洋食)

誕生日・結婚記念日祝福

新会員卓話

◇第1355回10月14日(水) 通常例会

米山奨学生 プイティホアさん来訪

「ロータリーの友」10月号配布

米山月間テーマ卓話 地区委員 近藤元帥さん

タリーは機会の扉を開く」は若い可能性を信じるということでもあります。一方で経験に裏打ちされたベテランのアイデアに対してもどんどん機会の扉を開くチャンスを作ろうと仰っています。

2760地区のガバナーは岡部 努さんです。ガバナー方針は「行動するロータリアン！世界で何かよいことをしよう、TOGETHER!」、サブタイトルは「ロータリークラブの奉仕が、世界の平和につながってゆきます」です。

地区方針は、まず、「1. クラブはロータリーの中心。クラブの活性化を図ろう」です。それには、クラブ戦略委員会でも5年先のビジョンを描き、継続性を強めていくことです。また、クラブ研修委員会を設置し、入会3年未満の新会員のリーダーシップを養いましょう。先程お聞きしたら、名駅RCは新会員に大変手厚く色々な情報が渡るようになっていますが、3年未満の方は新会員の研修などに参加してより深くロータリーを知って頂きたいということです。最近ではロータリーの研修は座学ではなく、ディスカッション形式が重視されています。

クラブの活性化や会員増強には奉仕プロジェクトも大切です。財団の補助金も活用して下さい。今はコロナに対する補助金が1回限り使って頂けるということで、早く動かれたクラブも沢山あります。この補助金を大いにご活用下さい。

そして、「2. ロータリーファミリーとの連携強化をしよう」。世界には今25万人のローターアクトが活躍し、将来はロータリーで頑張ろうという人も多くいます。ただ、日本のローターアクトはスポンサークラブの下で活動していて、海外のように独立して自分たちで資金を集め、自分たちで運営するのは少し違います。また、日本のワーキングシステムでは例会に出席することにもハードルがあります。ただ、ローターアクトの力をどう借りていくか、共同事業などに巻き込んでいくことはとても大切です。他にインターアクト、RYLAなど若い人たちに目を向けていくことは大変重要だと思います。

「3. オンライン・ツール、リソースの活用をしよう」。My Rotaryは神野パストガバナーのおかげで皆さん50%以上入っておられるということですが、地区のロータリーアプリもスマホに入れて頂けると使い勝手がいいと思います。

「4. 会員増強をしよう」。クナーク会長は数字をあげて会員増強を求めることはないと言っています。しかし、コロナにより会員が急激に減っているのが現状です。人が減ることは体力がなくなることですので、やはり会員を増やさなければいけません。

名駅RCは女性会員が大変多くて11%です。西名古屋区分13RC全体では4.6%、日本全体では7%、世界で一番多いカナダは35%です。これからは女性の力、女性の視点の奉仕プロジェクトが重要であり、2022-23年度にはロータリーの歴史で初めて女性のRI会長も誕生します。

また、先程申したように、ローターアクトがロータリアンになるのが難しい中、岡部ガバナーが考

えられているのは衛星クラブです。8人から設立できて、自分たちで会費、例会日、時間、回数などを全部決められるので、若い人たちの中には興味を持っている方も多いと聞いています。

「5. ロータリー賞へ挑戦しよう」。地区便覧に記載されている条件に挑戦して下さい。

「6. 国際大会へ参加しよう」。前年度のハワイの国際大会は中止になりましたが、今年度の国際大会は6月12日(土)～16日(水)に台北で行われます。是非参加して下さい。ガバナーナイトは13日(日)です。

10月の予定でした地区大会は3月14日(日)に延期されました。講演は東国原英夫さんです。皆さん全員参加のつもりでお考え頂きたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

◇謝辞

山本裕三会長

ガバナー補佐会長幹事懇談会

例会前、照井ガバナー補佐を囲む懇談会を開催し、和やかな雰囲気の中、貴重なご意見を頂きました。



ニコボックス

- ご芳志。(西名古屋区分ガバナー補佐 照井 菜さん、地区副幹事 坂 英臣さん、西名古屋区分幹事 林 順治さん)
- 照井さん、坂さん、林さんをお迎えして!! (山本裕三さん)
- 照井ガバナー補佐はじめ皆様のご来訪を歓迎致します。妻の誕生日祝福に対して。(西川達郎さん)
- 照井ガバナー補佐を歓迎して。(算 正紀さん)
- 照井ガバナー補佐、坂地区副幹事、林区分幹事、ご指導宜しくお願い致します。(加藤友康さん)
- 照井ガバナー補佐、坂地区副幹事、林区分幹事、本日は訪問ありがとうございます。(岩井孝真さん)
- 照井 菜ガバナー補佐訪問を歓迎して。(小室健次郎さん)
- 照井ガバナー補佐をお迎えして。(飯田容子さん)
- 照井ガバナー補佐の講話を楽しみにしています。(大橋昭治さん)
- ①照井ガバナー補佐公式訪問を歓迎して。②7ヶ月ぶりの通常例会、嬉しいです。(神野重行さん)
- 通常例会の再開を祝して。(中村 修さん)
- 9月27日、朝日新聞に会社PRをして頂きました。(二ノ宮眞佐恵さん)
- 第123回名駅ゴルフ部会コンペで、ハンデに恵まれて2位となりました。同伴・参加メンバーの皆様と天候に感謝します。(六鹿敏也さん)
- 裕三さん、負けました。ニコボックスに入れます。(日比野三吉彦さん)
- 宮下さん、ゴルフ会幹事、お疲れ様でした。(辻 雅人さん)
- 9月27日のゴルフコンペにて、また優勝させてもらいました。当日の同伴プレーヤーの米坂さん、二ノ宮さん、浅原さん、色々とありがとうございました。また、宮下幹事、ご苦労様でした。(大橋誠之さん)
- 9月27日、ゴルフ部会コンペ、ご参加頂きありがとうございました。大橋さん、連覇おめでとうございます。次回は12月中旬の予定です。改めて近日ご案内します。(ゴルフ部会 宮下一成さん)
- ゴルフ会、宮下さんお疲れ様でした。大橋誠之さん、優勝おめでとうございます。2枠買っていませんでした。失礼しました。(米坂みよ古さん)
- 照井 菜ガバナー補佐のご訪問を歓迎して。(石黒 隆さん)
- ご芳志。(石井雄二さん、笹谷俊道さん)
- その他、本人誕生日の方1名よりご協力頂きました。

2020-21年度ガバナー補佐訪問
クラブアセンブリー報告

○加藤友康幹事(司会) クラブアセンブリーを開催する。まず山本会長、照井ガバナー補佐、ご挨拶を。
○山本裕三会長 本日は照井ガバナー補佐、坂地区副幹事、林分区幹事、おいで頂き御礼を申し上げる。各委員長は丁寧に今の活動状況を報告して欲しい。

●照井 菜ガバナー補佐 先程会長との懇談会で熱い思いを聞き、充分クラブの魅力は分かった。しかし、報告書の裏付けを取りたいと思うので宜しく。

○加藤幹事 では各委員会からご報告を。(戦略委員会は会長幹事懇談会で報告済みのため割愛)

○笥 正紀クラブ奉仕委員長(出席・ニコボックス委員会、クラブ情報委員会、創立30周年記念事業実行委員会の報告も併せて) 山本会長方針「美しく行動しよう」、スローガン「他人の意見を尊重しよう!」はまさにコロナ禍の今必要とされる心構えだ。クラブ奉仕委員会はそれを踏まえ、関係委員会と密に連携し、各委員会の活動環境を整えていく。ロータリー賞獲得に向けても委員会を支援したい。

出席・ニコボックス委員会は、年度当初は短縮例会となり、今後も臨時的に例会中止もあり得る状況下だが、出席に関しては、事務局と連携してメールで事前に出欠確認し、最適な会場サイズを把握して会場費のロス低減に努める。ニコボックスも事前に振込による協力を募り、出席者は減少しても奉仕額の維持に努めている。振込は例会前の密集を避ける意味もある。ここまで3ヶ月は予想以上の奉仕を頂いた。目標額は軽く越えそうだ。

クラブ情報委員会は、HP、新聞、メディアに情報発信し、当クラブの活動を伝えている。会員に対しても、クラブ計画書、ウィークリーレポート等により色々な情報を伝え、会員間の情報共有を図る。その他、会員名簿の作成・配布、新幹線西口のもニメントのメンテナンス、例会で「ロータリーの友」「ガバナー月信」の紹介・閲読促進などを行う。

創立30周年記念事業実行委員会は、コロナ禍であろう2021年4月に創立30周年を迎えるにあたり、周年事業はどうあるべきかをゼロベースで考え、新しい周年事業を成功させたい。コロナの影響で周年事業を取りやめるクラブも多いと聞く。4月は少し先だが、9月から委員会を再開し、年内には大筋の方向性を決めて会員や地区へご案内したい。

●照井ガバナー補佐 メールでの出席の事前確認はどうやって?(答:HPから事前に連絡して頂いている。コロナ禍になってから始めた)。それはすごい。ITに強い方がいたのか?(答:HPを運営しているところで、アンケートのフォームを少しいじって作って頂いた)。ニコボックスの金額はびっくりした。今のペースだとい金額になりそうだ。

○神野重行会員組織委員長 会員組織委員会は、会員増強、ロータリー情報、職業分類会員選考の3分野の活動を行う。会員増強はただ数を増やせばいいのではない。ロータリアンの成長を目指して既存の

会員にも働きかけをしたい。また、このような情勢の中、退会防止などにも対応していきたい。具体的な部分は米坂副委員長からご報告させて頂く。

○米坂みよ古会員組織副委員長 今期はこれまでに4名が入会した。そのうち交代が3名、新規入会が1名だ。名駅RCは転勤族が多いのが特徴だ。女性も入会して10名になり、会員の1割を超えた。今後も女性会員を増やしたい。未充填職業分類の補充も進めたい。新会員のフォローとして新会員を囲む会を半期に一度行っている。

○長谷川徹青少年奉仕委員長 名古屋中央RACを提唱クラブとして支援する。名古屋中央RACの例会に毎月1回1~2名が参加。当クラブの例会や奉仕事業への参加も促進する。今期はZoomでのリモート例会にも参加した。8月22日に開催された「RAC-1グランプリ」というロータリーとローターアクトの共同事業のプレゼン大会にも参加した。10月4日の大須での掃除や10月10日の「緑の散歩道プロジェクト」という植樹にも参加予定だ。RYLAセミナーは2名以上の登録へ頑張りたい。

○高田統夫社会奉仕委員長 昨年度は中川運河の桜並木プロジェクト(地区補助金事業)、かけこみあいDVイベント支援(市内25RC社会奉仕委員会支援事業)がコロナ等により中止となった。しかし、学童クラブへの物資の支援は、テレビなどでも紹介され高い評価を受けた。今年度はコロナ禍の中、できる範囲内で小回りのきく支援を届けたい。何か良いことをしようの何かを探したい。ポリオ撲滅活動や「桜の回廊プロジェクト」にも協力する。

○早川敏江職業奉仕委員長 前々年度会長の意向で作成された「職業紹介冊子」は、追記載や修正があれば対応する。「職業紹介冊子」を作成しているクラブは他にない。クラブ内の会員交流に生かされており、今後も多くの会員に掲載して頂けるよう継続的に取り組みたい。その他、職業奉仕卓話を実施する。卓話者、時期は未定だ。職場見学会は親睦活動・家族委員会と協力し、親睦旅行と一緒に計画したい。

●照井ガバナー補佐 先程会長から30%は転勤族と聞いた。地元の方への対応はどうか?(答:ただ仲間を増やすというより、今後の私どもの奉仕活動に必要な職業の方に入ってもらえるよう努めてきた)。それは職業分類が偏らないので良いと思う。職業紹介冊子は立派で分かりやすい。実は大須RCも以前作ったが挫折した。横のつながりが強くなるので、是非継続して欲しい。社会奉仕のプログラムは委員会内で考えるのか?(答:社会奉仕委員会の中にも色々な人がいるが、やはりそれだけでは視野



が狭くなるので、会員から広く情報を仕入れたい。

○浅原英之親睦活動・家族委員長 コロナ禍の中、会員・家族間のフェローシップ構築に資する活動をする。①例会受付の担当者は例会1時間前に集合し準備を行う。正副委員長もできる限り1時間前に集合し、ゲストなどを温かくお迎えする。②会員・配偶者の誕生日、結婚記念日の祝福を月初の例会で行う。③夜間例会は2回を予定(クリスマス・最終)。年間例会数は38回を予定。④職業奉仕委員会と協力し親睦旅行を企画。状況に応じ柔軟に実施したい。

○遠藤泰昭SAA・会場運営委員長 名駅RCからコロナ感染者を出す訳にはいかないので、今日も「Welcome to Meieki!!」という曲を全員で合唱してお迎えしたかったが取りやめた。感染防止のため、食事が終わったらすぐにマスクを付け、歓談も避けて頂いている。なかなか例会で懇親を深めるのは難しいが、名駅RCは同好会活動が充実しているので、懇親はそちらの方で深めて頂く。プログラムに関しては副委員長から説明させて頂く。

○上田和志プログラム担当副委員長 会員相互の幅広い交流を目指した例会運営を実施するため、プログラムの充実を図りたい。これまでは原則毎月第2例会は立食・卓話なしで行っていたが、コロナの感染拡大状況を見ながら三密を避けるために柔軟に対応している。今は立食は行っていない。短縮例会中は外部卓話も行っていなかったが、今後は予定している。新会員卓話は次回例会から予定している。

○神保 誠 前年度国際奉仕委員長 コロナが収束しない中だが、姉妹締結先・台北建成RCと新しい交流の方法を考え、更に親睦を深めたい。1年おきに行き来していたが、昨年度は中止。今年度の名駅RC30周年記念式典について、台北建成RCからは、状況次第だが現在のところ参加予定だという話を頂いている。前日には歓迎会を計画している。また、台北の国際大会に多くの参加者を募りたい。

●照井ガバナー補佐 SAAは大変な役割だが困ったことはないか？(答：本来SAAは会長経験者がやるべきだと言われていた。おしゃべりしている人がいたら「うるさい」と言えるからだ。私はそれができないので困る)。ご飯も食べられず大変なお役だが頑張っただけ。国際奉仕は台北のクラブとはどう交流している？(答：台北建成RCに日本語が堪能な人がいるのでLINEでやりとりもしている)。

○西川達郎ソングリーダー委員 ロータリーソングは今はコロナ感染防止で歌っていない。新会員には1年に1度はソングリーダーを務めて頂くが、これも実施できていない。また、合唱の同好会・コール・カメラの活動に協力している。コール・カメラはクリスマス例会、夜間例会への参加ほか、老人ホームでの慰問コンサートを開催。これは単独以外に、コールロータリーの有志の方々や名古屋西高校のコーラス部の生徒さんと一緒にも行っている。これらも今は中止もしくは未定だ。

○加藤幹事(R財団・米山記念奨学会委員会について) ①昨年度より受け入れている米山記念奨学生

の支援。②R財団へポリオプラス基金1人30ドル、年次基金1人150ドルの寄付を行う。③米山記念奨学会の寄付は1人あたり普通寄付金5千円、特別寄付金1万5千円の計2万円、特別寄付率80%以上が目標。④その他、会員への啓蒙を通じてR財団の使命や米山記念奨学会の理解促進に努める。

○山本会長(椿賞委員会、薪能委員会について) 名駅RCのメインイベントが椿賞と名駅薪能だ。椿賞は、ふさわしい人を選ぶのが難しい。コロナ禍の中で、今年度はふさわしい人を見つけて表彰したい。

薪能委員会だが、毎年7月末開催の名駅薪能はコロナの関係で一旦11月に延期されたが、それも更に延期となった。その開催もコロナ次第だ。来年7月はリニアに伴う会場の問題で開催はまずできない。少なくとも数年は名駅で薪能はできない。大須に持っていく案も出たが、名駅薪能でなくなる。委員会は薪能を研究する会に変化しなければいけないだろう。全国学生能楽コンクールだけでも続けて光を消さないようにしたい。

●照井ガバナー補佐 慰問コンサートは楽しみに待っている人も多いだろうが、しばらく時間は必要だろう。米山奨学生は今ベトナムの方がおられると聞いた。米山奨学生は優秀な方が多い。経済的な支援のおかげで安心して勉強できるとよく言われる。特にコロナ禍で孤独を感じている学生さんが多いと思うので、是非フォローをお願いしたい。椿賞は、私はいつも新聞でチェックしている。これからも続けて欲しい。薪能もそうだ。しかし今伺って、難しい状況だとは思いますが、火は消さないで欲しい。

○加藤幹事 各委員会の報告は終わった。それでは来訪者の皆様よりご講評をお願いしたい。

●照井ガバナー補佐 コロナ禍の中でも色々工夫されているのが分かった。特に、新会員を受け入れるにも、将来の奉仕活動を見据えて活動しているのが素晴らしいと思った。ガバナー補佐訪問では各クラブの伝統やカラーをすごく感じるが、名駅RCは方向性がしっかりしていて、しかも皆さん横並びで活動されているところにとても好感を持った。

●坂 英臣地区副幹事 特に驚いたのはクラブ計画書だ。とても見やすく分かりやすい。現在進行形のことでも歴史も、これを見れば理解できる。職業紹介冊子や新会員の研修資料も今まで見たことがなかった。会員フォローが充実したクラブだと実感した。クラブ戦略委員会について山本会長から伺ったが、素晴らしいビジョンが作られるよう祈念している。

●林 順治分区幹事 今日まず感じたのは、加藤幹事をはじめ若い人が多いことだ。私は照井ガバナー補佐が会長の時に幹事をしたが、その頃を思い出した。懇親会で会長から「美しく行動しよう」という方針と「他人の意見を尊重しよう!!」というスローガンを伺ったが、お人柄やお気持ちが伝わってきた。

○加藤幹事 最後に寛副会長、謝辞と閉会挨拶を。

○寛 副会長 コロナ禍に負けず、名駅RCも今後益々発展していきたい。またご指導をお願いしたい。今日1日、ありがとうございました。